

らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ



● 常木らくだ ●

先月から公募ガイドで「リレー小説」という企画が始まりました。

毎回お題の小説が公開されるので、それを読んだ上で、応募者が続きを書くという内容です。

詳しい説明はこちら。

現在は第1回と第2回の小説が公開されています。

【リレー小説（下の方に説明あり）】

<https://www.koubo.co.jp/reading/rensai/oubo/fanclub/fanclub.html>

途中まで与えられた作品の続きを書くというのは、創作のトレーニングになりますし、作者の個性が垣間見えて読む側も楽しいですね。

なお規定字数は400字～600字。

原稿用紙1枚ちょっとの文字数で応募可能です。

というわけで、気軽な気持ちでやってみようと思ったら、第2回のテーマが冒頭からあまりにも重すぎた件。

やめてくれ！

死とか親族の争いとか今の私にはリアルすぎる！

まあでも、否応なしに共感できるからこそ、この物語をせめて希望のある締め方にしたいという衝動がわきました。

うむむ……。

残り600字でどうやったら大井さんを前向きにできるのか……。

なんだかこれは、作者のセンスの見せ所のような気もするので、自分なりにこの物語の結末を考えてみようと思います。

こんにちは、らくだです。

カクヨムで読者投稿企画「頭脳系ラノベフェス ～知略&ハッターリ系主人公募集～」が開催されている模様。

書籍化前提のコンテストではないですが、きらりと光る何かを持つ作品があれば、出版を検討する可能性があるそうです。

【頭脳系ラノベフェス】

https://kakuyomu.jp/user_events/1177354054894002045

- ・ 募集内容 主人公が知略／ハッターリで勝ち進む頭脳戦・心理戦に関する作品
- ・ 規定字数 不問（ただし選考は1～2万文字を目途に行う）
- ・ 応募締切 2020年3月6日（金）
- ・ 結果発表 2020年5月中旬頃
- ・ 選考委員 MF文庫J編集者3名
- ・ 受賞特典 Amazonギフトカード5,000円分（奨励賞1名）など

ちょっと話はそれますが、自分の中で最高の策士キャラといえば、フジリユー版封神演義の太公望だと今でもずっと思ってます。

アニメの評判はアレでしたけど！

太公望はヘタレに見せかけて策士なところがいいんですよ！

まあ一番好きなのは普賢ですけどね。

最推しキャラに最推しCVが来るとかいう神案件。

というわけで、自分の趣味を語っただけになりましたが、策士主人公というのはありそうでなかった企画なので、ご興味のある皆様はチェックしてみてもいいかなと思います。

こんにちは、らくだです。

最近えんため大賞を筆頭に、従来の新人賞が続々とウェブ募集へ移行しておりますが、ついに集英社も完全ウェブのコンテストを実施するようです。

ちなみに開催は小説家になろう。
さすがに角川系のカクヨムではなかった模様。

【第 1 回集英社 WEB 小説大賞】

<http://dash.shueisha.co.jp/webaward/>

- ・ 募集内容 ジャンル不問
- ・ 応募締切 2020 年 6 月 30 日 (火)
- ・ 結果発表 2020 年 9 月上旬予定
- ・ 規定字数 8 万字以上 (未完 OK)
- ・ 受賞特典 大賞賞金 30 万円&コミカライズ確約

下限 8 万字で未完も可なので、従来の集英社ラノベ新人賞に比べると、規定字数の部分では参加しやすくなりました。

なお応募条件には下記の一文が。
「他社応募中の作品でも、同時に応募可能です」

というわけで重複応募も OK です。
チャンスが増えるのは作者にとっていいことですよね。

私が活動していた一昔前は、重複応募は禁忌中の禁忌みたいな風潮がありましたが、最近は認める賞も増えつつあって時代の移ろいを感じます。

以上、第 1 回集英社 WEB 小説大賞の紹介でした。

第1回キスミル大賞 - 2020.02.04 Tue

こんにちは、らくだです。

女性向けコンテンツを配信しているボルテージが、その名も「KISSMILLe（キスミル）」という、恋愛限定チャット小説アプリを12月に公開しました。

そのアプリで「第1回キスミル大賞」が開催中です。

【第1回キスミル大賞】

https://products.voltage.co.jp/apps/kissmille/cp_01/

近ごろ増えつつあるチャット小説は、LINEのような1~3行の短い文章で、小説を進めていくというものです。

上のサイトにサンプルが載っていますが、おそらく一番近いイメージとしては、ギャルゲーや乙女ゲーのテキスト部分を書くような感じですね。

ちなみに賞のテーマはこちら。

字数制限はありませんが1話完結が前提です。

「俺様な彼とのキス」

これは壁ドンと非常に相性がいいテーマ！！！（戯れ言）

超どうでもいい情報ですが、自分はキスそのものより、壁ドンやらアゴクイやら男性側のアクションに心がときめくタイプです。

本題へ戻りますが、小説だと執筆の手が止まってしまう人も、チャット形式なら気軽に書けそうですし、こういう発信形態も時代に合っていて面白いなと思いました。

こんにちは、らくだです。

何でもネットで済むような時代だからこそ、心を込めた手書きの手紙って、貰った時に特別感があって素敵ですよ。

というわけで。

日本製紙連合会がラブレターコンテスト 2020 を開催中。

専用応募用紙は全国の郵便局に置いてありますが、下記サイトからダウンロードすることも可能です。

【ラブレターコンテスト 2020】

<http://kamitsubu.com/campaign/loveletter/2020/>

- ・ 募集内容 大切な人へ贈る想いを込めたラブレター
- ・ 応募締切 2020年2月28日（金）
- ・ 規定字数 応募用紙（6行）に書ける量
- ・ 投稿方法 郵送のみ受付

ちなみにこのコンテスト、毎年この時期に開催されていますが、私は前回とっておきのラブレターを送って落選しました。

べっ、別に悔しくないから！

そもそもラブレターに優劣なんかないし！

比べて順位をつけようっていう発想が間違ってるわ！

まあでも、こんな機会でもないとラブレターなんて書かないので、書くキッカケという意味ではとても有意義なコンテストだと思います。

そういうわけで、投稿して結果が出た後は、是非ともその手紙を本人へ渡すのがいいんじゃないでしょうか。

職場近くのインドカレー店で、ドリンクチョイス可と書いてあったので、どんなドリンクがあるのか尋ねてみたら、「ラッシーしかありません」という答えが返ってきた件。

チョイスとは一体（哲学）



ところでインドといえば、ちょっと古い本（12年前刊行）ですが、中谷美紀さんのエッセイ「インド旅行記」を読みました。

幻冬舎の文庫本で全4巻ですが、人気女優でありながら肩ひじ張らず冒険する姿はある意味すごく等身大で、とても共感できる内容でした。

それで改めて感じましたが。

やっぱり読書の時間っていいなあ。

読書をすれば疑似体験としてワクワクドキドキできます。

泣いたり、笑ったり、感動したり、ときめいたり、色々な感情が生まれます。

そういうの、現実逃避っていう見方もできるけど、読書をすることで頑張ろうって気持ちが湧くんだから、むしろ現実を乗り越えるために必要なエナジーチャージだと思うんですね。

今回だって、読む前は時間がなくてギスギスしてたけど、読んでる最中は現実のイヤな気分を忘れて楽しめたし、時間を取って本当に良かったと感じました。

2月はさらに忙しいと予想されますが、読書の時間は絶対に確保したいし、自分が生きる上で必要な時間なので、これからも色々な本たちに出会いたいです。

こんにちは、らくだです。

フジテレビが「第 32 回フジテレビ・ヤングシナリオ大賞」を開催中です。

【ヤングシナリオ大賞】

<https://fuji.young-scenario.com/>

- ・ 募集内容 未発表のオリジナル脚本（テーマは自由）
- ・ 応募資格 プロの脚本家を目指す方
- ・ 規定枚数 50 枚～65 枚 (20 字× 20 行を 1 枚とする)
- ・ 投稿締切 2020 年 2 月 29 日（土）
- ・ 結果発表 2020 年秋頃
- ・ 応募方法 ウェブ応募

なお大賞賞金は 500 万円です。

そして佳作も 100 万円という太っ腹ぶり。

これは小説の公募ではあまり見ない額ですよ。

さすがはフジテレビといったところでしょうか。

そういうわけで、賞金に興味を持ちつつ、でもヤングだから自分は無理だな～と思って年齢制限を確認したら。

「応募資格：自称 35 歳以下」

自称って。

それ誰でも応募できますやん。

というわけで実際の若者はもちろん、自称ナウなヤングも応募できるので、シナリオを書かれる皆様はチェックしてみてもいいかなと思います。

こんにちは、らくだです。

第 204 回コバルト短編小説新人賞の結果発表がありました。

【発表ページ】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/write/newface-award/no204/>

今回面白いなと思ったのは掲載作品の中に日記形式の小説があったこと。

ちなみに自分も日記を書いています。

小学生の時から習慣なのでもう 30 年くらいでしょうか。

日記は基本的に自分しか読まないの、ヤマもオチもなくひたすら自由に書くのみですが、それが逆に「ああ、私って今こんな風を感じてるんだ」という発見に繋がるというか。

やっぱり書くって大事ですよ。

日常の中で感じたことは家族や友人に喋りますが、1 から 10 まで全部を言葉で伝えるわけではないので、行き場のなかった感情を文章で表現するのが私はすごく好きなのです。

ま、自分の場合コミュニケーション能力ゼロなので「言葉 1 : 日記 9」くらいですけどね！（自虐）

話は戻りますが、実際の日記はともかく、日記形式の小説を書くとなるとまた全然違ったアプローチが必要だと思います。

今回のコバ短の選評には、その辺りの注意点も書いてあるので、しっかり熟読して今後の創作にいかそうと思いました。

こんにちは、らくだです。

公募ガイド3月号がオモシロ企画を開催中。
その名もズバリ「〇〇がないと小説は書けない」という企画です。

空欄に入る文字は人でもモノでもオッケー。
参加方法はハッシュタグを付けてツイートする形式です。

【〇〇がないと小説は書けない】

<https://www.koubo.co.jp/reading/tanpatsu/oubo/shousetsu.html>

というわけで。
私も執筆の必需品を考えてみました。

<絶対いる> パソコン、メモ帳、筆記用具、プリンター
<あったら嬉しい> 飲み物、BGM、片手で食べられるオヤツ

なんか……。
平凡すぎて面白くないですね……。

あと執筆時に欠かせないのは好きな小説でしょうか。
手が止まってしまった時にパラパラ読むようにしています。

そうするとやる気が復活するんですね。
自分もこれだけ面白い小説を書くんだっていう。

たまにパラパラのつもりが真剣に読みふけてしまう場合もあるんですが、それはそれとして、大好きな小説はモチベーションアップのために欠かせない執筆のお供です。

こんにちは、らくだです。

公募ガイドの連載「気ままに公募ママ」が更新されました。

今回のテーマはズバリ「自分らしさ」。

創作においてオリジナリティは重要ですが、改めて、投稿者として興味深い内容のコラムでした。

【自分らしさ】

https://www.koubo.co.jp/reading/rensai/article/koubomama/200208_01.html

作者は税に関する川柳コンクールで、自分の好きな「フリーマーケット」を題材にして、みごと入選を勝ち取られたそうです。

税って難しいテーマですね。

消費税は日々払っていて身近ですが別に愉快的なものでもないですし。

そういう時は与えられたテーマを、自分自身が好きなものと結び付けたら、発想が膨らむのでは……と作者の塩田さんは語っています。

これは確かに。

読んでなるほどなと感じました。

自分はこれまで投稿する時、ひたすら「テーマに寄せる」よう心掛けていましたが、逆に「テーマを自分の得意分野に引き寄せる」方が、きっと楽しく自由に書けるはずです。

例になっているのは川柳ですが、小説でも同じことが言えそうなので、今後心にとめようと思いました。

こんにちは、らくだです。

今回ご紹介するのは公募ガイドの特集、
「オモテとウラがわかる！ヒルモとヨルモの小説・エッセイ相談室」

前に読者からの質問を募集していましたが、その回答が雑誌3月号に掲載されており、ネットでも少しだけ読むことができます。

【ヒルモとヨルモの小説・エッセイ相談室】

<https://www.koubo.co.jp/magazine/tokusyuu/202003.html>

掲載テーマは以下の2つ。
どちらも気になる内容です。

- ・小説を書くとき、取材はしたほうがいいのか
- ・書く前に、プロットは作るべきか

ちなみに今回の企画は、オモテとウラがテーマなので、表（するべき）と裏（しなくていい）両方の回答が載っています。

なので読んだ後、結局どっちやねん！？みたいな気分になりますが、そこはまあそれ。

創作のスタイルは十人十色ですからね。

先入観で決めつけるのではなく、両方の回答を読んだ上で自分に合った方法を取り入れるのが、結局はいいのかもしれない。

なおネットで読めるテーマは2つですが、雑誌には他にもたくさん載っているようなので、買ってチェックしてみようと思います。

こんにちは、らくだです。

第 34 回アルク翻訳大賞の結果発表がありました。

以下リンク。

受賞者様はおめでとうございます。

【発表ページ】

https://www.alc.co.jp/translator/article/taisho/result34_2019/index.html

このコンテストは前から何度か紹介してますが、字幕翻訳部門・出版翻訳部門・実務翻訳部門があって、それぞれ評価されるポイントが異なります。

たとえば実務翻訳は正確性が何よりも大事。

出版翻訳は作者の意図を汲み取る感性が求められる。

そして字幕翻訳は、登場人物の性格に合った口調を考え、それを短い制約字数の中で表現するのが重要です。

という感じなので、さすがに複数通過者はいないな〜と毎年思っていたんですが、今年は 3 部門すべてで通過している方がいるじゃないですか！

これ本当に凄いなって……。

訳し方を使い分けできるってことですからね……。

ちなみに最下部に告知がありますが、このコンテストは今後実施の予定がなく、なんと今回が最終回だったようです。

まったく知らなかったのが残念ですが、翻訳の世界にゴールはないですし、これからも研鑽を積みたいと思いました。

常木さんスイーツ好き？

じゃあイチゴパフェ食べに行かない？

と職場の先輩 2 人に誘われて、何気なく「じゃあ」とご一緒したら、なんか凄いの出てきました。

<商品名>

「いちご好きに捧げるストロベリーマニアパフェ～8種のいちごをふんだんに使用した食べ比べパフェ～」
2,500 円（阪神梅田本店限定）



長すぎる商品名。

見た目のインパクト。

1 個 2,500 円という百貨店価格。

さらに説明によると、パフェ部分も前に並んだ部分も、使用されているイチゴはすべて違う種類だそうです（さちのか、あまおう、とちおとめ等々）。

ク、クレイジーだぜ……！

戸惑いを隠せない私をよそに、先輩達が「私の推しイチゴは淡雪で……」と語り始め、イチゴマニア 2 人の議論についていけなかったイチゴ初心者。

推しイチゴ……。

そんな単語は初めて聞いたよ……。

まあオタクじゃない一般人から見れば、推しキャラという発想も理解不能なんだろうし、そう考えたら推しイチゴという概念があってもおかしくはない……？

なおパフェは美味しかったですし、一人ではなかなか食べない物なので、先輩のおかげで珍しい&面白い体験ができて良かったです。

こんにちは、らくだです。

コバルトの連載企画「小説を書くためのプチアドバイス」が更新されました。

今回のお題は、

『第 23 回・短編小説は「キレと余韻」、長編小説は「構成力」が肝になる！』

以下リンク。

もはやプチとは呼べない長さになっております。

【小説を書くためのプチアドバイス】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/write/column-miura-shiwon/003505/index.php>

え、ちょっと待って……。

いきなり最終回って嘘でしょ……。

というわけで、この連載は今回で終わってしまうようですが、最後に「今後のお知らせをお楽しみに！」と書いてあるんですよ。

これは新企画があるって意味？

パワーアップ期待しちゃっていい？

まあ深読みすると「お楽しみに！」は集英社の打ち切り宣告という見方もできますけれど……（ジャンプで学んだ）

とにかく勉強になる連載でしたし、三浦先生の近況報告（？）も毎回面白かったので、何らかの形で復活してくれたら嬉しいなと思います。

以上、「小説を書くためのプチアドバイス」の紹介でした。

イチゴマニアの先輩に誘われて再度イチゴパフェを食べに行った件。



おっ？

今回は割と普通じゃないですか？

お値段も 1,200 円だし、オマケのイチゴもついてないし、これなら出費的にもカロリー的にも前回の半分くらいですね！

と思いつつ余裕で完食。

ごちそうさまです美味しかったです。

しかしここで驚きの一言が。

先輩 A「楽勝やな」

先輩 B「よし、2 軒目行くか」

ちょっと待って！

ハシゴするんですか！

というわけで、これはブログネタにしようと思ったんですが、完食するのに必死すぎて 2 軒目の写真を撮り忘れしました。

まあ飲み屋をハシゴするのは割と普通の習慣だし、そう考えたら、イチゴパフェをハシゴするのも普通なの……かも……？（思考麻痺）

私もスイーツは好きな方ですが、ハシゴという発想はなかったので、まだまだ修行（？）が必要だと感じま

した。

明日 2 月 17 日から確定申告の受付が始まります。
申告される方はスケジュールに余裕を持って済ませましょう。

なお確定申告は 2 月 15 日からというイメージが強いですが、還付の場合は 1 月から申告できるので、すでに入金まで完了しているケースもあると思います。

私も 1 月中に申告を済ませました。
自分で計算した結果、還付金額はというと。

862 円

3 ケタじゃん……。
せめて 4 ケタは欲しかった……。

まあ会社員で年末調整してるので、確定申告の還付は微々たるものですが、少額だろうと税金が戻ってくるのだからしない手はありません！

というわけで。
今日は 862 円で食べられるランチを選んでみました。

「沖縄酒場あしびなー」 タコライス定食（小鉢 2 品、スープ付き）



実際のところは納め過ぎた所得税が戻ってきているだけなので、別に得したわけじゃないですが、このランチをタダで食べたと思うと謎の満足感がありました。

少額でわざわざ面倒だなんて場合もあると思いますが、国に納めっぱなしよりは自分の胃袋に入った方が嬉しいですし、該当する方はぜひ還付申告したら良いかと思います。

やっぱり疲れた時はお肉だよね！

というわけで。

今日のランチは韓国料理店で焼肉定食。



何度か書いてますが、近ごろ平日仕事で休日学校って生活をしてるので、休める日が実質ゼロという意味のわからない鬼畜プレイ。

好きでこんな生活を始めた私はドMでしょうか？

いやまあ質問するまでもなく最初からドMですけど。

しかしそんな状況でも、人間である以上食事はするので、もはやランチが最大の娯楽と言っても過言ではない最近のらくださん。

まあ食って大事ですからね。

何を食べるかは健康状態にも直結しますし。

あと個人的には、創作って時間が必要なイメージですが、脳内で考えるだけなら基本的に忙しくても可能だなーと思いました。

たとえば移動中、食事中、お風呂中、寝る前の数十分。

頭が空いてる時は自分はだいたい創作のことを考えています。

そういうわけで、書きたい内容は日々たまっているので、どうにかこの妄想創作意欲を形にしたい……！

グルメもさることながら、投稿についてもさらに発信できるよう、どうにか時間を確保して以前のように活動したいです。

こんにちは、らくだです。

本日 12 月分のカクヨムリワードが付与されたようです。
詳しい内容についてはカクヨム公式ブログをご覧ください。

【カクヨム公式ブログ】

<https://kakuyomu.jp/info/entry/2020/02/18/181434>

ちなみに自分の収益はこんな感じ。

- ・ 10 月 1 円
- ・ 11 月 12 円
- ・ 12 月 8 円

預金利息よりは多少マシな数字ですね。
まあこっちは 3,000 円稼がないと引き出せませんが。

あと気になったので 1 文字あたりの収益を計算してみました。

- ・ カクヨムに載せている文字数 約 15 万字
- ・ これまでに稼いだ金額 21 円
- ・ 1 文字あたりの収益 0.00014 円

0.00014 円とか、これもう絶対に、スーパー銭湯でコイン返却口に残ってる 100 円拾った方が早いですよ！！

(そんな真似しないですけど)

というわけで、3,000 円はどう考えても無理ですが、これはこれで面白いので今後も推移を見守りたいと思いました。

こんにちは、らくだです。

カクヨムで新コンテストの開催が発表されました。

タイトルはその名も「カクヨム 2020 夏物語」。

この夏の国際的スポーツ大会を盛り上げる企画のようです。

要はオリンピックのことだと思いますが、その単語をかたくなに使わないのは、ひょっとすると商標的な問題でしょうか……。

【カクヨム 2020 夏物語】

<https://kakuyomu.jp/special/entry/kakuyomu2020summer>

- ・ 募集内容 “2020 年夏” をテーマにした物語
- ・ 規定字数 最大 4,000 文字
- ・ 受付期間 2020 年 3 月 27 日（金）～5 月 6 日（水）
- ・ 中間発表 2020 年 6 月中旬頃
- ・ 結果発表 2020 年 8 月上旬頃

募集部門は以下の 3 つ。

大賞賞品が部門に合った内容になっていて面白いです。

- ・ スポーツ・キャラクター小説部門（JTB トラベルギフト 5 万円相当）
- ・ ゲーム・冒険小説部門（プレイステーション ストアカード 5 万円相当）
- ・ SF・ミステリー小説部門（体験ギフト 5 万円相当）

まだまだ寒い日が続きますが、沈みがちな気分を吹き飛ばすべく、今から真夏の小説を考えるのも素敵ですよ。

以上、カクヨム 2020 夏物語の紹介でした。

こんにちは、らくだです。

公募ファンクラブの「これってどうなの？」という新コーナー。
2/25～3/20のお題が発表されましたが今回も難しいテーマです。

【公募ファンクラブ（真ん中あたり）】

<https://www.koubo.co.jp/reading/rensai/oubo/fanclub/fanclub.html>

第3回「講座の先生に添削をお願いしたら、厳しい言葉で赤字がたくさん入っていた。添削で、厳しいことをいわれるのは有りですか？」

投稿者間で議論が白熱しそうなお題ですよ。
まあだからこそテーマに選ばれたんでしょうけど。

そういえば、自分は小学生の頃、日記を添削されるのが苦痛でした。

そもそも日記というのは感じたことを書く場所で、そこに正解や不正解は存在しないと思うんですが、何故それを赤字で矯正されなきゃならんのだと。

その結果、提出用の日記には無難な意見を書いて、本音は自分用の別の日記に書くようになり、その時染み付いた習性は大人になった今の私にもだいぶ影響している自覚があります。

まあ、それはあくまでも日記の話で。

小説の添削の場合は、書き手はプロを目指しているわけだろうし、先生に厳しい指摘をされるのも基本は仕方ないのかなと。

とはいえあまりにも厳しいとやる気を失ってしまいますし、先生との相性の問題もあると思うので、納得できる部分だけ受け入れたらいいのかなと思います。

こんにちは、らくだです。

前回公募ファンクラブの紹介をしましたが、いつの間にか「千人爆笑！大喜利」というコーナーができたようなので、今回はその件について考えてみます。

【公募ファンクラブ】

<https://www.koubo.co.jp/reading/rensai/oubo/fanclub/fanclub.html>

第3回課題「付き合ってください！」と告白しながら、通りすがりの美女をチラ見してしまった木村君。告白されたあき子ちゃんは、なんて答えた？

感想：木村君サイテーじゃないですか？（ガチギレ）

いやまあ気持ちはわかりますよ。

告白中に石原さとみが通りかかったらそりゃ見ますって。

しかし女子というのは、他人と比較されると傷つくものだし、ましてやそれが容姿となれば深刻なトラウマを与えかねないわけで。

お前は愛する女にそんな惨めな思いをさせていいのか？

病める時も健やかなる時も寄り添う覚悟で告白したんじゃないかったのか？

どうかお前のその腕であき子ちゃんを幸せにしてやってくれ、頼むぜ木村……。

以上が私の感想です。

大喜利じゃない上にあき子ちゃんの台詞でもないっていう。

しかしこれ、私の恋愛敗北者的怨念はさておき、このシチュエーションで面白い台詞って普通に難しいですよ（汗）

締切はまだ1か月先なので何かないか考えてみようと思います。

こんにちは、らくだです。

前に紹介した公募ガイドの企画「#君がいないと小説は書けない」の入選作品 10 本が公開されました。

以下リンク。

掲載された皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<https://www.koubo.co.jp/reading/tanpatsu/oubo/shousetsukekka.html>

今回選ばれた 10 のキーワードは、どれも創作に必要なものばかりですが、勝手にジャンル分けしてみました。

<コンディションに関するもの>

糖分、休憩、体力

<気持ち・動機に関するもの>

妄想癖、好きな気持ち、モチベーション、心の傷

<環境・外部要因に関するもの>

締切、整ったネット環境、経験だけしても小説は書けない

自分のコンディションを整え、モチベーションを維持し、書くための環境を用意する。

この 3 要素はどれも必要不可欠ですよ。

1 要素でも欠けてしまったら書けないというか。

逆に言うと、執筆が進まない時はどれかが欠けているわけなので、何が足りないのか分析する手掛かりになるんじゃないかなと思いました。

こんにちは、らくだです。

以前カクヨムとコラボしていた「キミラノ」がまとめコンテストを開催中。

オススメ作品をリストアップする機能を使って、テーマに沿ったまとめを応募するコンテストです。

【ラノベまとめコンテスト】

https://kimirano.jp/special/cp/1st_anniversary/

パートナー部門のテーマは以下の通り。

この他に自分でテーマを設定するフリーテーマ部門もあります。

つむぎ賞：中学生にオススメの作品

ノエル賞：「行ってみたい世界」の作品

レオン賞：カッコいい技が登場する作品

綾乃賞：思い切り泣ける青春作品

華恋賞：思わず笑い転げちゃう楽しいラブコメ

ディアナ賞：ジャンル問わず、激推し作品3つ！

これだけ世にラノベが氾濫していると、自分に合った作品を発掘するのも一苦労ですが、好きなレビューさんのオススメ作品をチェックすると良作に巡り合えたりしますよね。

もちろん 100%ではないですが、趣味が似てる分ヒットする確率も高いですし、むやみに人気作を読みまくるより参考になるんじゃないでしょうか。

というわけで。

自分も一応ラノベを書く身ではありますが、最近の情報は正直言ってあまり知らないので、まとめをチェックしてみようかなと思いました。

突然ですがパブ版のリンクを載せておきます。
もうすぐ2月も終わりますが1月分の紹介がまだだったので。

【らくだ図書館 (94)】

<http://p.booklog.jp/book/129939>

ところで先週、イチゴマニアの先輩（女性）から悩み相談を受けて二人で食事をしてきました。

それで改めて思ったんですが。
普段は明るく見えていても、やはり人間ですし、内面では色々あるんだなあと。

そういう私だって同じです。
むしろ私の方がひどいかもしれません。

心の中の怒りとか憎しみとか、そういう黒い感情は綺麗な風呂敷に包み込んで、中身が見えないようにがちり結び目を握り込んでいるわけで。

別に隠したいわけじゃないんですけどね。
ただそういう感情は見せられた方も迷惑でしょうし。

とはいえ、普段他人に言わない本音も、ここにはかなり率直に書いているので、それを読んでもくれる皆様がいるのはありがたい限りです。

なお冒頭の件については、先輩が悩んでいるのは心苦しいことですが、私に打ち明けて相談してくれたことは嬉しかったです。

本当は自分も一緒に悲しむべきなのに、この状況を嬉しく感じた、この気持ちも醜いエゴなんですか。

考えてわかるような問題でもないですが、こういう疑問は創作の根幹でもあるように思うので、一歩ずつその答えを探していきたいです。

こんにちは、らくだです。

夏にカクヨムで開催された「大人も子供も参加できる！カクヨム甲子園《テーマ別》」の結果発表がありました。

【発表ページ】

https://kakuyomu.jp/contests/kakuyomukoshien2019_theme#result

当初は大賞 1 本の予定でしたが、応募作が力作揃いだったため、それぞれの部門から大賞作品 4 本が選ばれたそうです。

ちなみに部門は以下の 4 つでした。

「恐怖は SNS から始まった」

「きのう、失恋した」

「キミは絶対に騙される」

「扉の向こうは不思議な世界」

話はちょっとそれますが、中高生の頃の 10 代の失恋って、なんであんなに爽やかなんでしょうね？

私の失恋なんて、旦那が夜逃げした挙げ句レターパックで離婚届が送られてきて、本人が行方不明だから義父と慰謝料の金額交渉するとかいう、どこからどう見ても爽やか度ゼロな内容だったんですけど（困惑）

つらいぜ現実……。

これが中高生とアラフォーの差かよ……。

そんな私も、10 代のピュアな失恋作品を読んで、汚水のようにドロドロな心を浄化させたいと思います。

こんにちは、らくだです。

今回は非モテ川柳コンテストをご紹介します。

公募ガイドで賞名を見た瞬間思わず詳細クリックしてしまいました。

最近、離婚とか失恋とか非モテとか、そんな情報ばかりキャッチしてしまう自分のことが恨めしい……！

【非モテ川柳コンテスト】

https://mtmen.jp/user_data/motesen2020.php

- ・ 募集内容 非モテエピソードに関する川柳
- ・ 投稿締切 2020年4月30日(木)
- ・ 結果発表 2020年6月上旬
- ・ 参加資格 20歳以上の男性
- ・ 応募方法 メール、ツイッター、インスタグラム

なんで男性限定なのと思ったら、そもそもこの賞を企画している会社が、メンズ香水やメンズスキンケアのメーカーだからですね。

そういうわけで。

私は応募できませんがせっかくなので考えました。

「捨てられた？ 違うぜこれは ソロデビュー」

「シングルで ジングルベルを 聴いた夜」

「ラブレター 書いたら逆に 嫌わレター」

テーマがテーマなので、皆様是非……とオススメはできませんが、ご興味ある方はチェックしてみてもいいかがでしょうか。

同僚に確定申告の締切が延長されたと聞いて、そんなウソ絶対に騙されないぞと思いつつ確認したら、本当に1か月延びて4月16日になってた件。

【国税庁の発表】

<https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/shinkoku/kansensho/pdf/0020002-130.pdf>

ちょっと待って？

これなら3月残業しなくてよくね？

今年は無理だと思ってたソシャゲのホワイトデーイベント満喫しちゃっていい流れじゃん！？（そこ）

とはいえ、原因は新型コロナウイルスですし、そう考えるとあまり手放しで喜ぶのもどうかなと。

締切延長にしたって、申告する側は余裕ができて嬉しいけど、受け付ける側は1か月長く拘束されるわけで、その間は通常業務ができなかったり何かしら支障が出るでしょうし。

というわけで。

締切延長は個人的にめちゃめちゃ嬉しいですが、それはまたそれとして、この事態が少しでも早く収束するよう願います。

ついでに(?) 新人賞の締切も延長して欲しいですね。

いやまあ執筆は一人するものなので人混みとは無関係ですが。

以上、確定申告の締切延長に関するひとりごとでした。

こんにちは、らくだです。

昨日全国の小中高校へ休校要請が出て、政府の対応が物議をかもしていますが、私はこの件について別の問題が気になっております。

卒業式に告白する気だった子はどうなるんですか！
第2ボタン渡したり渡されたりできないじゃないですか！

だって昨日発表で来週から休校でしょ？
つまり中3生や高3生は今日が最後の1日だったわけでしょ？

あの年齢の生徒にとっては、告白って人生の一大事だと思いますが、昨日の今日じゃ突然すぎて心の準備とかできないですよ。

ここまで書いて思いました。
この状況はまどマギのさやかに似てるなって。

「告白するなら今から1日以内にしてくださいね！（突然）」
⇒する
⇒しない

いやー……。
普通はできないっしょー……。

まあ今は以前と違ってSNSとか普通にあるし、休校になっても連絡取って会えるかもしれませんが、卒業式で告白するという様式美は大切にしたい元祖ときメモプレイヤー。

この件については多方面に影響が出ていますが、一番振り回されるのは当事者の小中高生だと思うので、昨日も書いた通り少しでも早く収束して欲しいです。

こんにちは、らくだです。

前に紹介した第15回オタク川柳。
その最終結果が昨日発表されました。

【第15回オタク川柳】

<https://www.575.moe/>

- ・応募総数 7,788 句
- ・入選作品 20 句
- ・入選率 約 0.2 %

ちなみに私は落選でした……。
割と自信あったんですけど……。

でもちょっと待って。
落選は残念だけどうも考えられますよね。

「投票式の選考で入選できなかった」⇒「投票者は私に共感しなかった」⇒「私の感性は別に全然オタクじゃない」

はっはっは！
オタクどもは本当にキモいな！

はい、すみません。
今のは落ちたショックの負け惜しみです。

こんなことを書きましたが、もちろんこの企画は応援しているので、来年もまた懲りずに投稿しようと思います。